

申請書記載留意点

募集要項をよくお読みのうえ、以下の各項目の留意点を参考に申請書・企画書をご記入下さい。

〇年〇月〇日現在

申請者	ふりがな 氏名	本講座を企画し申請する方の氏名・連絡先を記入します。 サークルや団体に企画し申請する場合も、企画の代表となる方の個人名と連絡先を記載願います。		
	住所			
	電話・FAX	電話番号は日中連絡のつく番号を記載。 FAXがない場合は、FAX欄に「無」とご記入下さい。		
	E-mail	E-mailはフリーメール以外のパソコンのメールアドレスでお願いいたします。		
該当する番号に○を付けて下さい。1で在勤・在学に該当する、もしくは2～4に該当する場合は、所属もご記入ください。				
区民プロデュース講座の応募動機	どのような応募動機をもって講座を企画したのかをご記入ください。			
提案する講座の概略	何を、どのような方法で、区民の方に学んで（知って、体験して）いただき、その後、どうなってもらいたいかをご記入ください。講座のおおよその内容とその特徴やねらい、目的などもご記入ください。			
過去の実績	区民プロデュース	※過去の実績とは、今回申請する本講座と同様の講座の実績のことです。		
		アカデミー文京主催の区民プロデュース講座に企画を応募した履歴を、実施・応募に分けてご記入ください（応募歴がない場合は未記入）。		
		実施	応募のみ	
		○		××年度 講座名「〇〇〇〇〇」
		○	××年度 講座名「△△△△△」	
		○	××年度 講座名「□□□□□」	
その他	主催者がアカデミー文京以外（国・地方自治体、法人、民間等が主催者となる講座）で開講された実績をご記入下さい。 例) ××××年 〇〇〇〇〇講座 主催者△△カルチャー(株)、90分の講座を5回、定員30名、受講生15名			
講師プロフィール	講師となる方の氏名、講師の実績を箇条書きでご記入下さい。 例えば、本講座の講師を務めるに必要な資格の取得年月日と名称、発行団体の正式名称。活動実績として、〇〇年より週に1回の割合で〇〇において講座を受け持つ、〇〇年より〇〇教室を開講等、著作物、本講座に関する受賞記録等。ホームページが開設されていたら、そのアドレス。			

財団 記入 欄	受付日	受付者

企画書記載留意点

〇年〇月〇日現在

講座名	講座名をご記入ください。副題もあればご記入ください。		
想定する講座の対象	該当箇所に〇を付けてください。 ※募集時に条件をつけることはできません。(親子講座は除く)		
時間・回数	講義時間と回数をお考えのうえご記入ください。		
開催時期	いずれかを選択して〇で囲んでください。		
曜日・時間帯	可能な曜日と時間帯全てに〇を付けてください。 実施が決定した後、アカデミー文京と相談の上決定します。		
会場	原則として文京シビックセンター地下 1 階 アカデミー文京内施設を利用いただきます (水が使えるのはアトリエのみ)。調理等が必要な場合は、アカデミー茗台またはアカデミー湯島になります。火や煙の出るものは、調理室以外は使用禁止です。強い香りが残る講座は実施できません。		
対象・定員	㉑10人から40人程度		
受講料	㉒受講料(教材費を除く)は、「講師謝礼額 30,000 円÷㉑定員数」で算出してください。	㉒	円
教材費	㉓ 円(教材費の実費)	㉓	円
	㉓には、教材として講師が準備し受講生に配布するものがあれば、実費をご記入ください。教材内容は、どのようなものか具体的にお書きください。テキストは、1回につきA4モノクロ両面2枚までは、アカデミー文京でコピーをすることができます。 受講生が支払う金額は、受講料+教材費となります。	受講生支払総額 ㉒+㉓ 円	
使用機材	使用する備品に〇を付けてください。講師持参欄には、その他講座の中で使用する設備、機材を全てお書きください。*講師持参の機材は基本的にお預りできません。		
受講生が用意するもの	例) 筆記用具、はさみ、カッター、エプロン、袋(作品持ち帰り用)		
備考	開講に際して特記する事項がありましたらご記入ください。		
	日程(案)	内容	講師(ふりがな・肩書き)
1	月 日	各回の内容をわかりやすくご記入ください。	各回の講師の方の氏名肩書をご記入ください。
2	月 日		
3	月 日		
4	月 日		
5	月 日		
6	月 日		